

北海道新聞

発行所
北海道新聞社

郵便番号 060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011(221)2111
©北海道新聞社2010

速報

インターネットで道新ニュース
www.hokkaido-np.co.jp

ご購読申し込みは
0120-464-104

道新スポーツ

千歳JAL国際マラソン

第30回を迎えた千歳JAL国際マラソン(千歳市体育協会、日本航空、北海道新聞社、道新スポーツ主催)が6日、千歳川近隣の林道、サイクリングロードを使って行われた。節目の大会に参加を申し込んだのは過去最多となる1万1198人。韓国、台湾から来日したランナーも加わり、文字通りの国際マラソンとなった。

最多の1万1千人

参加者 韓国、台湾からも
申込者

これまでも日本に在住している外国人の参加はあったが、今回は海外から初めて、韓国の22人と台湾の37人が申し込んだ。

初夏の日差しが注ぐ青葉公園では午前9時から、陸上自衛隊第7音楽隊の先導で大会役員らがパレードして開会。9時半のハーフマラソンを皮切りに3キロ、フルマラソンとスタートし、最後にスポーツジャーナリストの増田明美さんが招待選手として出場した10キロの選手たちが新緑のトンネルの中に飛び出していった。

4種目ともコースは昨年と同じ。フルとハーフの林道部分でハイブリッド車が選手を先導する環境配

慮策では今年、地元ディーラーの協力でホンダ「CR-Z」が使われた。フルとハーフそれぞれで、4人ないし5人が組み上位4人の合計タイムで競い合う団体戦は3回目を迎え、計69チームがエントリー。10時、3キロ、3キロファミリーに出場した小中学生や親子連れも、沿道の家族らから声援を受け、力を振り絞って次々にゴールインした。

今年の大会を支えたボランティアは、JALグループの社員をはじめ約1200人。フルとハーフでは、コース沿道約5キロごとの給水所で、冷水を含ませたスポンジなどを手渡してランナーを激励した。

完走者の全記録は6月12日の道新スポーツに掲載します。

千歳市青葉公園をいっせいにスタートするハーフマラソンのランナーたち。6日午前9時30分



力走重ねて第30回



力をふり絞ってゴールする3*の子どもたち



陸上自衛隊第7音楽隊の先導で
開会パレード

新緑抜けて



ハーフマラソンのスタート前、入念に準備体操



記念撮影する台湾からの参加者たち

北海道新聞社



道新ぶんぶんクラブ
キャラクター
ぶんぶん
©Dainichi

道新 学ぶ 楽しむ 役に立つ
ぶんぶん
クラブ

会員募集中

学んで、楽しんで、トクをして。
詳しくは、道新紙面・ホームページでチェック!

紙面に登場した人物を招き講演会 「ニュース運動講座」
趣味・特技を広げて自分を磨こう 「ぶんぶん巡回文化教室」
大学などの共催で学ぶ 「ぶんぶん教養講座」

心に残るあの名作映画をもう一度 「ぶんぶん映画上映会」
北海道の自然・味覚を堪能する旅 「ぶんぶん特別ツアー」
北海道のプロスポーツを応援しよう 「ファイターズ、コンサドレ戦ご招待」
家庭料理・創作料理をつくって味わう 「いただきます!北海道」

会員証提示で割引・特典 「加盟店サービス」
道新出版の新刊本に感想を寄せて 「新刊モニタープレゼント」
無料でお気軽に生活便利相談 「ぶんぶんコール」
紙面で掲載された写真を割引提供 「道新写真サービスの割引」

入会対象 北海道在住の
18歳以上の方

会費 無料

お申し込み

道新ぶんぶんクラブ入会申込書またはホームページ・携帯電話で
<http://bunbun.hokkaido-np.co.jp/>
バーコード読み取り機能のあるカメラ付き携帯電話をお持ちの方は
右のコードを読み取って表示されたアドレスからアクセスできます。



入会に関する
お問い合わせ

北海道新聞社「道新ぶんぶんクラブ」事務局
〒060-8771 札幌中央郵便局
TEL 011-210-5261 (平日9:30~17:30)